

# 浸水

## ハザードマップ

廿日市地域版



### 「浸水ハザードマップ」とは

このマップは洪水、津波、高潮、土砂災害時に避難する場所や注意すべき箇所をまとめたものです。「災害時に危険となる場所はどこなのか?」「自宅の最寄の避難場所はどこなのか?」を確認しておきましょう。また、災害はいつ発生するかわかりません。いざという時に、落ち着いて行動できるように、このマップを使って家族や地域で話し合ってみてください。



避難場所		家族の集合同所	
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

お問い合わせ 廿日市 総務部 危機管理課 危機管理係  
TEL (0829) 30-9102 FAX (0829) 32-1059

すぐに持ち出せる所に保管して下さい。

# 廿日市市に起こりうる災害

梅雨時期、台風時期などの雨が降る時や地震が起きた時などに、河川は氾濫・内水は氾濫による「浸水災害」、土石流・がけ崩れ・地すべりなどの「土砂災害」、「高潮・津波による浸水災害」など、人命や財産等に大きな被害を及ぼす「自然災害」が、廿日市市内で発生する可能性があります。

様々な自然災害から身を守るために、日頃から自分の住んでいる地域のどんな場所が危険であるかを把握し、気象情報に十分注意して、災害に備えるようにします。

## 雨の降り方と強さの知識

1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、境界が悪くなる。		
ザーザーと降る。話し声聞き取りがなくなる。	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。	バケツをひっくり返したように降る。山崩れやがけ崩れが起こりやすくなる。	滝のように振り、傘はまったく役に立たなくなる。マンホールから水が噴出したり、土石流が起こりやすくなる。	息苦しくなるような圧迫感が感じ、恐怖を感じる。雨による大規模な災害が発生するおそれが高い。

## 「津波」の知識

津波とは地震に伴う海底地盤の変動が、海面に伝わり大きな波となって海岸に打ち寄せる現象をいいます。

**津波の原因のほとんどが地震**  
海底の地下深いところで地震が起こると、海底が持ち上げたり、沈み込んだりします。この海底の変形に伴って、海面が変動します。これが「津波」です。

**津波の伝わり方**  
海底が深いところでは速度は遅いのですが、波の高さはあまり大きくありません。一方で、津波の速さは海岸に近づくにつれて速くなりますが、波の高さは大きくなります。

**高潮などの波と津波の違い**  
津波は、海底から海面の海水全体が動かされるため、波のエネルギーは非常に大きくなります。

# 情報を集めよう!

## 防災情報の伝達

雨量や潮位・水位に関する情報、避難や防災に関する情報は、次の方法で市民のみならず伝わりやすくなります。梅雨時期や台風時期には、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて積極的に情報を入手し、事前の備えを万全にしましょう!

防災メール	防災行政無線	テレビ	ラジオ	インターネット	広報車

## 「高潮」の知識

高潮とは、台風や発達した低気圧により、海面が異常に高くなる現象をいいます。「低気圧による海面の吸い上げ」「風による岸への吹き寄せ」「波浪による海面の上昇」が主な原因です。

**低気圧による海面の吸い上げ**  
台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げる結果、海面が上昇します。

**風による岸への吹き寄せ**  
台風による強い風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。

**波浪による海面の上昇**  
大きな波が海岸に向かって絶え間なく押し寄せると、沖に戻る事ができず岸に近い場所に多量の海水が留まり、海面が上昇します。

## ホームページや携帯電話による気象情報・防災情報

ホームページや携帯電話からも、最新の「気象・防災情報」が入手できます。

<p>廿日市市の様々な情報入手!</p> <p>廿日市市役所ホームページ</p> <p>主な掲載内容 ● 各種防災情報 ● 避難施設案内 ● 被災者支援情報</p> <p>Webアドレス http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/</p>	<p>広島県内の総合防災情報サイト!</p> <p>広島県 防災Web</p> <p>主な掲載内容 ● 気象情報・地震情報 ● 防災気象情報(台風・地震情報) ● 天気予報 ● 観測情報(雨量・水位など)</p> <p>Webアドレス http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/ http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/</p>
<p>広島県内の高潮・津波浸水想定区域図を提供!</p> <p>広島県高潮・津波浸水想定区域図</p> <p>主な掲載内容 ● 高潮・津波浸水想定区域図 ● 高潮・津波災害ポータルひろしま</p> <p>Webアドレス http://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/</p>	<p>日本国内の様々な気象情報を発信!</p> <p>気象庁 ホームページ</p> <p>主な掲載内容 ● 気象情報・地震情報・台風・洪水・土砂災害・気象警報の防災気象情報 ● 天気予報、週間予報、1か月・3か月等の季節予報、紫外線、放射線などの情報</p> <p>Webアドレス http://www.jma.go.jp/</p>

はつがいちし安全・安心メール配信サービス

市災害対策本部の設置・廃止や避難勧告・避難所開設などの災害情報、弾道ミサイル・テロなどの国民保護情報、その他緊急情報をメールでお知らせします。

登録用アドレス: bousai.hatsukaichi-city@rain.ktaiwork.jp  
登録用URL: http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/

# 早めに避難しよう!

**避難に関する情報**  
「避難に関する情報」には、次の3つがあります。

警戒レベル3 高齢者等避難 危険な場所から高齢者等は避難	警戒レベル4 避難指示 危険な場所から全員避難	警戒レベル5 緊急安全確保 危険な危険直ちに安全確保!
---------------------------------	----------------------------	--------------------------------

また、津波の場合は突然起きる地震により発生しますので、大きな揺れを感じたら自主的に避難するようにしましょう!

※津波に警戒レベルはありません。

**高台・丈夫な建物へ**  
脱出路を確認し、火の確認・始末をした後、高台や丈夫な建物の上階へ避難。海側・河川には近づかない!

これら「避難に関する情報」が発令される前でも、身の危険を感じたら、自主的に避難するようにしましょう! また、避難が遅れた場合(浸水が始まっている場合は、2階以上に避難するなど「自宅待機する」方が安全な可能性があります)。自宅周辺がどのくらい浸水するかの「ハザードマップ」を確認するとともに、気象・防災情報を積極的に入手し、**早い早い避難**を心がけてください!

## 「河川はん濫」と「内水はん濫」の知識

**河川はん濫**  
河川はん濫とは、堤防の決壊や堤防から水が溢れることにより、街中や農地などに水が流れ出す現象です。「流れ」を伴う浸水災害なので、河川の近くには近づかないようにしましょう。

**内水はん濫**  
内水はん濫とは、降雨や高潮により河川・海水の水位が上昇し、街中や農地などの水が排水できなくなり、排水の水が溢れ出たり、マンホールから水が溢れる現象です。

## 津波警報・注意報の分類

警報の種類	想定される被害	とるべき行動
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	沿岸部や川沿いにいる人は、 <b>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</b> してください。津波は繰り返してきますので、安全な場所から離れないでください。
津波注意報	10m (5m<高さ≤10m)	沿岸部や川沿いにいる人は、 <b>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</b> してください。津波は繰り返してきますので、安全な場所から離れないでください。
津波警報	5m (3m<高さ≤5m)	沿岸部や川沿いにいる人は、 <b>ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難</b> してください。津波は繰り返してきますので、安全な場所から離れないでください。
津波注意報	3m (1m<高さ≤3m)	海の中にいる人は、 <b>ただちに海から上がって、海岸から離れ</b> てください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。
津波注意報	1m (表記しない)	海の中にいる人は、 <b>ただちに海から上がって、海岸から離れ</b> てください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり、海岸に近づいたりしないでください。

※特別警報が出ていなければ避難は必要ないということではありません。

● 避難所が近くにない、津波警報が津波の発生に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。  
● 津波が沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。よけ高い場所を目指して避難しましょう。  
● 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配が無い場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波警報(若干の海面変動)」を発表します。

# 災害に備えよう!

**地域の状況**

「浸水ハザードマップ」は、家族や地域での日頃からの備えや、自主防災活動の支援を目的としています。「**地図の活用方法**」を参考に、地域にあった「**わがまち防災マップ**」を作成し、自分や家族の安全を守るためにご利用下さい。

- STEP 1 自分の家や地域の危険箇所を確認しよう!**  
自分が住んでいる地域に、「どのような危険箇所があるのか?」また、「最寄の避難場所はどこなのか?」を、地図を使って確認しましょう。
- STEP 2 防災マップを作成しよう!**  
自分の家から避難場所までの経路を記入しましょう。また、「家族の集合場所」や「災害時の危険な箇所(増水時の橋)」など、気になる箇所を記入しましょう。
- STEP 3 まち歩きをしよう!(現地を確認を)**  
完成した「防災マップ」を持って、実際にまちを歩いてみましょう。マップ上に現れない「危険な箇所」などを発見した場合は、さらに、書き込みを行います。
- STEP 4 危険な箇所を改善しよう!**  
「まち歩き」で見つけた「水路の詰まり」など、地域で改善できる所は改善してみよう。ただし、危険を伴うような箇所については、無理に改善せず、市役所にお問合せ下さい。

**わがまち防災マップ作成例**

家族の集合場所  
「市民センター」の1階以上  
〒739-0000 広島県廿日市市

**地図の活用方法**

## 非常用持ち出し品チェックリスト

非常用の持ち出し品	ヘルメット	手袋	懐中電灯	非常食・水
衣類	タオル	携帯ラジオ	ホイッスル	携帯電話充電器
救急セット	貴重品	身分証明書		
その他必要に応じて準備しておきましょう。	ティッシュ	使い捨てカイロ	ロープ	健康手帳、薬手帳など
	紙おむつ	雨具	粉ミルク、ほ乳ビン	
	ポリ袋	万能ナイフ、ライター	筆記用具(メモ帳とペン)	

## 避難行動要支援者

避難行動要支援者とは、災害時に自力で安全な場所に避難することが困難な方々のことです。具体的には、障がいのある人、高齢者、乳幼児、妊婦の方々などが該当します。地域で協力しながら要支援者の安否確認や避難所への移動を支援しましょう。

<p><b>高齢者</b></p> <p>1人暮らしの高齢者に声掛けをしましょう。必要に応じて避難所への移動を支援しましょう。</p>	<p><b>病人・体の不自由な方</b></p> <p>なるべく2人以上の複数人で協力して避難の介助をしましょう。</p>	<p><b>目の不自由な方</b></p> <p>声をかけ情報を伝えましょう。誘導する場合は、杖を持った方の手に触れず、ひじの辺りを軽く持つてもらい半歩手前をゆっくり歩ませます。</p>	<p><b>耳の不自由な方</b></p> <p>話す時は、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいように話しましょう。手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。</p>	<p><b>妊婦・乳幼児</b></p> <p>妊婦さんや乳幼児を連れての方には、避難所への誘導をしましょう。</p>
---------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

## 避難時の心得

**子どもやお年寄りと一緒に避難を!**

お年寄り・子ども・障害者や病気の有る方などは、避難に時間がかかりやすいため、早めの避難が必要です。避難時には、子どもや高齢者などは背負うなどの配慮をしましょう。

**安全な経路で足下に注意しながら避難を!**

避難時は、河川に近づくと、がけ沿いの道などは避けるとともに、雨などによりマンホールのフタが外れていたり、マンホールや側溝が見えない場合があります。棒などを使って元元を確認しながら、注意して避難しましょう。

**2人以上で歩いて避難を!**

避難時は動きやすい服装で、2人以上で行動するようにしましょう。また、車での避難は、緊急車両の妨げや、水に流されるなど危険を伴いますので控えます。

**避難時の服装**

長袖・長ズボン等の安全な服装を着用し、ヘルメットや防災靴で頭と足を保護しましょう。また、荷物は最小限のものにして、徒歩で避難しましょう。履物は、ひもで止められる底の厚い運動靴が最適です。長靴は中に水が入り、歩きにくくなるため、やめましょう。

**子どもやお年寄りには一緒に避難を!**

子どもやお年寄りには一緒に避難を!



### 浸水ハザードマップとは

浸水ハザードマップには、浸水が予測される区域および浸水深さのほか、土砂災害の危険箇所、避難施設、防災関連施設などの情報を記載しています。災害時に備えて、日頃の防災活動にお役立て下さい。

2017年（平成29年）6月作成 甘日市

河川はん濫、高潮浸水深の凡例（浸水の目安）

5.0m～	
2.0m～5.0m（2階の軒下くらいまで）	
1.0m～2.0m（1階の軒下くらいまで）	
0.5m～1.0m（大人の腰くらい）	
0.0m～0.5m（大人の膝くらい）	

凡例

	甘日市役所		ヘリポート
	避難施設		自動車・歩道
	警察署・派出所・交番		自動車道
	消防署・分署		市境界
	雨量観測所		主要道路
	水位観測所		



### 津波浸水深の凡例

	5.0m 以上		1.0m 以上 2.0m 未満
	4.0m 以上 5.0m 未満		0.3m 以上 1.0m 未満
	3.0m 以上 4.0m 未満		0.01m 以上 0.3m 未満
	2.0m 以上 3.0m 未満		海抜 5m を示した線

### 避難施設一覧

番号	施設名	指定緊急避難場所				指定避難所				番号	施設名	指定緊急避難場所				指定避難所															
		土砂災害	洪水	高潮	津波	適用性	土砂災害	洪水	高潮			津波	適用性	土砂災害	洪水	高潮	津波	適用性													
1	佐方市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	原市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	広島総合病院利用者用立体駐車場	○	○	○	○	○	○	○	○
2	佐方会館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	後畑集会所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	金剛寺小学校	○	○	○	○	○	○	○	○
3	佐方小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	原小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	33	地御前市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	甘日中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	宮内市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	34	野坂中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	中央市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20	明石集会所	○	○	○	○	○	○	○	○	35	地御前小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	甘日市小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	宮内小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	36	地御前キラキラ公園	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	桂公園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	峰高公園	○	○	○	○	○	○	○	○	37	阿品市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	甘日市高等学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	宮内市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	38	阿品市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	甘日市役所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24	宮内小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	39	阿品台市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	平良市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	四季が丘市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	40	阿品台西小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	平良小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	四季が丘小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	41	阿品台中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	七尾中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	四季が丘中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	42	阿品公園	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	甘日市ケアセンターそよ風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28	四季が丘公園	○	○	○	○	○	○	○	○	43	甘日市高等学校	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	新宮中央公園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	29	甘日市消防署	○	○	○	○	○	○	○	○											
15	ゆめタウン甘日市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	30	串戸市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○											

### 災害用伝言ダイヤル「171」

忘れてイナイ？ 070

災害発生時（震度6弱以上の地震など）に稼働する、NTTの災害用伝言ダイヤルサービスです。

利用方法

伝言を録音する  
局番なしで「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって…

伝言を再生する  
「被災地の方」は自分の電話番号を、  
「被災地以外の方」は被災地の方の電話番号を（市外局番から）(0829) 00-0000→伝言を録音する（30秒以内）

「被災地の方」は自分の電話番号を、  
「被災地以外の方」は被災地の方の電話番号を（市外局番から）(0829) 00-0000→伝言を再生する（30秒以内）

※サービスの開始はテレビやラジオで通知されます。「171」に関するご質問は、局番なしの「116」、又は通常のNTT窓口・営業所へお問い合わせください。  
災害用伝言ダイヤル「171」は、一般加入電話・公衆電話・携帯電話・PHSでご利用できます。  
※携帯電話・PHSは一部事業者を除く

### マップに関する注意事項

1 浸水想定区域は、想定した危険箇所すべてで「堤防を越えて水が溢れる、堤防が決壊する」ことを仮定して作成したものです。したがって地図上のすべての浸水想定区域が同時に必ず浸水するというものではありません。

2 突発的な大雨が降った場合には、中小河川のはん濫や、御溝・マンホールから水があふれるなどとして、地図に示した浸水想定区域以外の場所でも浸水する可能性があるため、注意してください。

この浸水ハザードマップは、次の地図を基に作成しています

岡ノ下川、可愛川、御手洗川 浸水想定区域	…平成19年度～20年度
高潮浸水想定区域	…平成18年度
津波浸水想定区域	…平成24年度
佐方川、可愛川 浸水想定区域	…平成21年度